



# GREEN LETTER

グリーンレター

**Vol. 235**

2016/05/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

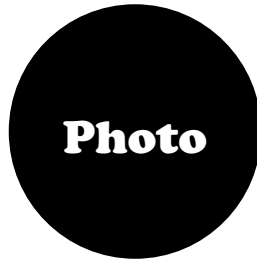
GREEN COLUMN

01. 春を感じる色

02. 昔のコタツ



今月の一枚



## 「あおぞらへ！」

表紙写真・文／福田春美

澄んだ青空の広がった午後。博物館の前庭にある彫刻作品が、気持ち良さそうに日向ぼっこをしていました。ようやく訪れた春を、全身を使って感じているかのようです。

作品名は「碧空（あおぞら）へ」。作者は本田明二で、美幌博物館が開館した翌年の1988年に設置されたものです。

# Event. 今月のイベント

企画展「家族のじかん」 ～5月29日（日）

ロビー展「お宝みせ国際博物館の日記念行事」 ～5月8日（日）

プチ工房「消しゴムはんこのカード」 5月12日（木）, 19日（木）

モノ作り講座「とうもろこしのコースター」 5月21日（土）

# Information. 参加者募集

イベント「こどもの日は博物館へ」

●5/5（木）9:00 - 17:00 かしわ餅の無料配布（先着 500 名）, 昔なつかしいせんべい焼き体験, 紙トンボづくり, 企画展展示解説&クイズラリー ●美幌博物館 ●無料（常設展示室も無料でご覧いただけます）●美幌博物館学芸員 ●申込み不要

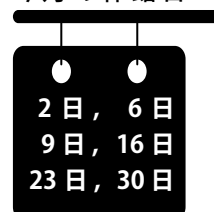
プチ工房「消しゴムはんこのカード」

●5/12（木）, 19（木）10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（100 円）●福田春美（美幌博物館）●申込み不要。小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要。

モノ作り講座「とうもろこしのコースター」

●5/21（土）10:00 - 12:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料代（100 円）, お手元が見えにくい方は眼鏡, ●八重柏誠（美幌博物館）●美幌博物館へ電話申込み（5/1 - 5/19）。対象は幼児から一般, 小学校 3 年生以下は保護者の同伴が必要, 定員 10 名で締切。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

## 01 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 春を感じる 色

写真・文／福田春美



**沖** 縄県から遅れること3ヶ月以上、北海道の東にある美幌町でも、桜の開花が気になる季節となりました。まだ咲いていませんので、フクジュソウの写真でご勘弁を…というわけではなく、今回は春を感じる色のお話です。

冬の間、真っ白な雪におおわれ、色の少ない中で生活している雪国の人々。そんな私達にとって、雪が解け、あらゆる生物が一斉に目を覚まし、色が生まれるこの季節は、なんともいえない高揚感に包まれます。

そんな中、散歩に出かけて出会うのは、土の茶色や、名前も知らない雑草のみずみずしい黄緑色。そして遠くからでも目を引く、フクジュソウの鮮やかな黄色など。桜を待たずとも、春色があちらこちらに出現しています。そんな色を見つけることで、春が来たなあと実感する方は多いのではないで

しょうか。

さて、色の話になると、思い出すことがあります。それは、学生時代に沖縄県の竹富島を訪れ、現地の小学生と交流する機会を持った時のこと。彼らが描く動物や風景には、赤や濃いピンク、緑などの原色が惜しげもなく塗られており、ずいぶん驚いたものです。北海道育ちの自分とは、色彩感覚がまるで違うと思いました。しかし、南国特有の花が咲き、「春夏秋冬、緑の島」と呼ばれる環境で育った彼らにとっては、当たり前の表現だったのです。

そこでふと思いました。雪解けというものがない南国では、どんな色に春を感じるのでしょうか。空や海の色が変わるのか、はたまた、その土地の春の植物が存在するのか。いつか再訪したら、現地の方にぜひたずねてみたいと思いました。

## 02 GREEN COLUMN グリーンコラム

# 昔の コタツ

写真・文／鬼丸和幸



みなさんは、暖房というと、何を思い浮かべますか？エアコン、ストーブ、コタツ、カイロ…

コタツは、ストーブ生活が定着している北海道のみなさんにとっては、あまり馴染（なじ）みがないかもしれませんが、最近では、おしゃれ・インテリア感覚で利用されている方が増えていると聞きます。

古く室町時代には、囲炉裏（いろり）の上に木枠を組んで、布団をかけただけのシンプルな檜（やぐら）コタツというものがありません。また、安全コタツ（自在行火〈じざいあんか〉、ころこたつなど、呼び方がいろいろあります）は、木炭や豆炭などの熱源が入った陶器が、木枠で囲まれている形状になっていて、布団の中などに入れて利用されました。安全コタツは、熱源が入った陶器が、くるくると回転し、常に水平になるように作られてい

ます。そのため、万が一、就寝中に木枠を蹴り飛ばしても、陶器の中身がこぼれ落ちる心配が少なく安全です。。

先日、博物館で開催しました「国際博物館の日記念行事」では、“昔のお宝道具”というコーナーで「安全コタツ（自在行火）」を展示紹介しました。引き続き5月8日（日）まで2Fロビーで展示しています。まだ、ご覧になっていない方は、ぜひご観覧ください。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 ( 72 ) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / [museum@town.bihoro.hokkaido.jp](mailto:museum@town.bihoro.hokkaido.jp)

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

## 学芸員のつぶやき



.....  
自宅の庭に植えていた3本のシナノキ。冬の除雪で、庭に雪を捨て山にしたこともあり、ほとんど折れそうなくらい、曲がった状態でした。4月雪が解けると、いつの間にか、元通りシャンと立ち上がっていました。生きものの生命力に、あらためて脱帽しました。(鬼丸)